

I. 平成30年度の実績

グループ名称	よか家づくり普及促進会				
H30採択グループ番号	07	—	0208	—	0729

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	地域の皆様に「住まい手の方々が笑顔で生活できる住まいをご提案する事」の実現に向けて、木材の選択から加工、設計、施工まで一連の流れの中で最高の状態を提供する事を目指しました。その為に構成員の研修会や説明会、消費者の方々へ向けた事務局主催の感謝祭などを実施し多くの消費者に周知することができた。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/09	名称	グリーン化説明会抽選会	●		
	内容	グループのH30年度の取り組み内容・仕様の説明を行い、地域材の受発注に至る流れを説明し、質疑応答を行い、抽選会で終了した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/11/17	名称	栗原 感謝祭	●		
	内容	各構成員(施工店)のお客様や地域の方を対象に栗原SRを使い感謝祭を実施した。多くのお客様に楽しんで頂き、グループの家づくり・仕様を見て・聞いて・触っていただいた。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/15	名称	木と住まいの大博覧会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		
	内容	事務局内にてサポート体制を構成し、内勤1人 営業1人体制でサポート・提案することによりスムーズに設計・申請手続きができた。		
取組み ②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み ③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ内施工店にてお互いにバックアップ体制をつくった。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を周知した。特に施工事業者には講習会のパンフレットを直接渡し、講習会への受講を促した。実際に受講して頂いたが、1社だけ日程の都合がつかず、受講して頂けなかったため、今年度は受講して頂く予定。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	4 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	よか家づくり普及促進会				
H30採択グループ番号	07	—	0208	—	0729

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/26	名称	グリーン化説明会・抽選会		
	内容	今年度の取組に関して、共通ルール・研修会の実施計画・申請方法・平成30年度との違い等のついて説明会を実施。状況に応じて、実績報告等の説明会開催を計画する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/11/09	名称	栗原 感謝祭		
	内容	各構成員のお客様や地域の消費者の方々を対象に、毎年事務局が主催するお客様感謝祭を開催し多くのお施主様にグループの家づくり・仕様を見て・聞いて・実際に触れていただくよう計画する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/08	名称	木と住まいの大博覧会	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局にサポート体制を構成し、内勤1人 営業1人体制でサポート・提案する。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン
------------	----------	-----	---------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	施工構成員が廃業した場合は、情報登録機関のシステムを活用して、事務局が代替履行できる他の施工構成員をお施主様に紹介する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)							
内容							

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	よか家づくり普及促進会				
H30採択グループ番号	07	—	0208	—	0729

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	耐震性能を重視し、安心して長く住むことができる地震に強い家を建築。冬の寒さ、夏の温かさにも対応した断熱性能を有しており、快適で省エネ、省CO2で家族にも環境にも優しい住まいを促進。二酸化炭素を固定する地域材を豊富に使用し、良質で長持ちする家であり、佐賀県産材のぬくもりが幸せになる住まいづくりを普及、促進する。国が進める住宅施策を実践し、長期優良住宅を推進し、幸せになる住まいづくりを普及、促進している。周辺景観に調和した住宅地を形成。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	特になし。				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	H28、H29、H30年度地域材需要実績に基づく1棟当たりの平均需要予測を算出しグループとして必要数在庫としておさえる	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	省エネ機器メーカーのパターン化を行う。(非住宅は除く)	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	地域材については、佐賀県木材協会が公開している、佐賀県産材建築用木材在庫情報検索システムを利用し在庫状況を把握し施工グループ各社に定期連絡して配置する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通施工基準書に基づく施工の実施、省エネ施工に関しては省エネルギー技術講習会の施工講習講習を受講し、施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	長寿命型も高度省エネ型も、長期優良住宅の維持管理計画に準じて、35年の点検を実施する。(非住宅は除く)	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	「木造住宅工事管理の実務」に掲載されている「木造住宅施工状況現場検査チェックシート」を活用して自主検査を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	消費者にわかりやすく、明確に伝える為、グループ共通の見積書のフォーマットを作成し、工種毎の明細を提示する。設備機器メーカーの商品に関しては、プランシート等を添付する。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	施工時期の平準化、全面的なICTの活用、書類の簡素化により生産性の向上を進めて、週休二日制の導入に向けて推進していく。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技能・経験にふさわしい処遇(給与)が実現するよう、建設技能者の能力評価制度の策定を検討し、その制度をもとに高い技術・経験を有する建設技能者の能力を適正に評価することを推進する。
③ 社会保険への加入	有	内容	工事施工について下請の建設業を含め、社会保険加入業者に限定していくように構築していく事を検討する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全及び健康の確保に必要な措置が、設計・施工等の各段階において適切に講じ、安全及び健康に関する意識を高めることにより、安全で衛生的な作業の遂行を推進する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	よか家づくり普及促進会				
H30採択グループ番号	07	—	0208	—	0729

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1住戸に対して最低1部屋の和室の住居の配置を提案する。
② 和瓦の活用	有	内容	「和風住宅」の場合は、和瓦の活用を働きかける。
③ 襖・障子の活用	有	内容	「和の住まい」の良さを伝え和室の採用を推奨し、襖、障子の活用を働きかける。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	佐賀県重要無形文化財である名尾手漉和紙を推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	佐賀県産の陶磁器製洗面ボールや小物を推奨する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	相談窓口(グループ主催)の住生活全般に関する相談会・学習会のコンテンツの一つとして計画予定
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	唐津市景観まちづくり条例等、各市町村が指定した区内では各景観に関する条例のルールに配慮した家づくりをする。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

イベントの景品や展示会の来場記念品に東北の商品を採用する。
お施主様へ井草の畳など積極的に提案し活用を促す。

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

資材調達についてはグループ構成員で共有し、
全国で42箇所の木材物流プラットフォーム及び釜山港を
有する構成員であるナイス株式会社とも共有する。
施工についてはグループ構成員で協力して行う。
また災害があった場合はグループで積極的に対策にあたる。